

年次	乗客人員	降客人員	計
同 六 年	九七、五〇六、〇八二	八六四、一三三	一、六八五、六〇三
同 七 年	一〇六、六二七、四四〇	一、〇八〇、九八四	二、一四七、六一一
同 八 年	一一九、八七九、〇五〇	一、二三五、九八三	二、三九、三九八
同 九 年	一二三、四七七、七四二	一、四三三、四二六	二、一〇八、六七一
同 十 年	一二四、七八〇、五八八	一、四八〇、一九〇	一、七四七、八六九
同 十 一 年	二二八、一四一、一四六	一、三〇六、三三八	二、〇〇五、八三五
同 十 二 年	二二九、五五九、八七二	一、三六六、一三九	二、〇〇四、八四〇
同 十 三 年	一四〇、二四、六九〇	一、四〇八、七八	二、一六六、三三八
同 十 四 年	二二九、九四三、六四四	一、二九三、五〇九	二、二六、三三三
昭 和 元 年	一三三、九七六、一五〇	一、三九一、六九九	二、三〇三、六六一
同 二 年	一三三、四八〇、七四	一、三六六、九四三	二、三〇三、七五
同 三 年	一五七、〇三三、六九八	一、三三九、七六五	二、二五九、九九九
同 四 年	一四六、〇九九、三六四	一、三六五、一七八	二、三七八、五九六

### 第三節 電車

本市内へ乗入る電気鉄道には東部には阪神電気鉄道及び同社経営に係る阪神國道線の二線並びに阪神急行電気鉄道ありて、大阪、神戸間を結び、西部には宇治川電気鉄道ありて明石を経て姫路、神戸間を結ぶ。更に昭和三年十二月より有馬、神戸間の神有電気鐵は市の中央部湊川

に乗入る外、昭和四年四月より摩耶山麓に於ける摩耶鋼索鐵道の市内編入を見たり。次に各會社取扱に係る貨物及び旅客を前年に對比せば左表の如し。尙近時各會社共自社にてトラックを經營する外、市内外トラックの活躍により電車による貨物輸送は著しく減少したり。

#### 市内乗入電車乗降客數

(市内各驛通算)

年次	會社名	乗客人員	降客人員	計
昭 和 元 年	阪神電気鐵道	四、一三七、五一九	降客數ハ乗客數ト略同一トス	八、二七五、〇三八
	阪神急行電鐵	四、二四二、七七二	同 上	八、四八五、五四四
	宇治川電気鐵道	一一、三三八、四六〇	同 上 (全線ヲ含ム)	二四、六七六、九二〇
總 計		二〇、七一一、七五一	同 上	四一、四三七、五〇二
昭 和 二 年	阪神電気鐵道	四、一一八、四〇一	降客數ハ乗客數ト略同一トス	八、二三六、八〇二
	阪神急行電鐵	四、八三五、〇六九	四、七八六、七一八	九、六二一、七八七
	宇治川電気鐵道	二、五八四、八四四	降客數ハ乗客數ト略同一トス	五、一六六、六八八
總 計		一一、五三八、三一四	一一、四八九、九六三	二三、〇二八、二七七
昭 和 三 年	阪神電気鐵道	四、三二三、三五三	降客數ハ乗客數ト略同一トス	八、六四六、七〇六
	阪神急行電鐵	五、五一五、九七五	四、九六四、三七七	一〇、四八〇、三五二
	宇治川電気鐵道	二、六四九、七九六	降客數ハ乗客數ト略同一トス	五、二九九、五九二
	神有電気鐵道	四三、六九六	四一、六〇一	八五、二九七

年次	会社名	發送數量	到着數量	計
昭和四年	阪神電氣鐵道	本線九、六二一、七一〇 國道線一、七四七、三二五	九、九九八、五八五 一、七一八、七七四	一九、六二〇、二九五
	阪神急行電鐵	六、一五五、八二三	降客數ハ乗客數ト略同一トス	三、四六六、〇九九
昭和四年	宇治川電氣鐵道	二、五七五、〇七九	降客數ハ乗客數ト略同一トス	一、二、三一、六四六
	神有電氣鐵道	一、〇九八、八二七	降客數ハ乗客數ト略同一トス	五、一五〇、一五八
昭和四年	摩耶鋼索鐵道	四〇〇、三二六	降客數ハ乗客數ト略同一トス	二、一九七、六五四
	計	二一、五九九、〇九〇	二一、九四七、四一四	四三、五四六、五〇四

市内乗入電車取扱貨物數量表

(市内各驛通算)

年次	会社名	發送數量	到着數量	計
昭和元年	阪神電氣鐵道	二〇、一六五	二一、六〇八	四一、七七三
	阪神急行電鐵	七、一六四	四、八六〇	一二、〇二四
昭和元年	宇治川電氣鐵道	三、四八六	三、八五二	七、三三八
	計	三〇、八一五	三〇、三二〇	六一、一三五
昭和二年	阪神電氣鐵道	一六、一五五	一九、四六八	三五、六二三
	阪神急行電鐵	四、二六〇	三、八一九	八、〇七九
昭和二年	宇治川電氣鐵道	二、七七二	一、五一八	四、二九〇
	計	二三、一八七	二四、八〇五	四七、九九二

年次	会社名	發送數量	到着數量	計
昭和三年	阪神電氣鐵道	一一、四〇五	一六、六四四	二八、〇四九
	阪神急行電鐵	三、五五六	二、四九二	六、〇四八
昭和三年	宇治川電氣鐵道	五、七〇九	三、三五五	九、〇六四
	神有電氣鐵道	二	二	四
昭和三年	計	二〇、六七二	二二、四九三	四三、一六五
	總計	一四、九〇八	一九、二〇四	三四、一一二
昭和四年	阪神電氣鐵道	七、二二八	一三、五九八	二〇、八二六
	阪神急行電鐵	一、二七〇	一、九六二	三、二三二
昭和四年	宇治川電氣鐵道	五、四九六	三、二〇四	八、七〇〇
	神有電氣鐵道	九一四	四四〇	一、三五四
昭和四年	計	一四、九〇八	一九、二〇四	三四、一一二
	總計	一四、九〇八	一九、二〇四	三四、一一二

次に昭和元年以降の神戸市内電車の乗客人員及賃金表を掲ぐ。尙昭和四年四月一日より賃金壹錢値上の爲め人員減少せしも賃金に於ては增收を見たり。

年次	乗客及賃金	乗客人員	乗客賃金
昭和元年	九八、九六四、六三六	一〇七、一九八、六五九	四、八七〇、九四六
同二年	一一一、一八一、九六七	一一一、一八一、九六七	五、二七六、六一九
同三年	一〇五、三八一、七九〇	一〇五、三八一、七九〇	五、四六八、七四九
同四年			五、八二四、五一六

### 第十三章 氣象及潮位

#### 第一節 氣象

本年の氣候状態は稍異例とすべき年柄にて一月三日朝は本年神戸に於ける最低氣温の氷點以下五・二度を觀測し一、二月の雨量は一月平年 四九・〇耗、二月 五四・七耗、本年は一月 一一・一耗、二月 二三・六耗の寡雨の爲め阪神沿道にて飲料水にさへ差支へるに至れり。三、四月亦低温寡雨にして五月は雨量に於て僅に平年量を越え、六月の梅雨期は平年 二〇六・四耗、本年 九九・七耗にて平年の半に達せざる寡雨稍高温、七、八月寡雨殊に八月は平年の三分の一に達せず氣温著しく高く八月九日には明治三十年以來の極 三七・四度を觀測し兩月共平均氣温は平年に比し一度を越え、九月以降は各月共降雨饒多なりしも一月以來殆ど旱魃状態にありし爲九月六日より同二十六日迄上水道時間給水等の事ありたり。九月の平均氣温は平年より約一度の低温十二月は雨繁く稀有の高温にて平均氣温 九・七度平年に比し 二・九度高く、最高氣温は十五日に 二二・一度を示し創立以來の極 二〇・五度（明治三十七年十二月八日）を越ゆること一・六度、最低氣温は遂に氷點を降らず僅に 〇・五度を示し、降雨は平年の二倍量を越え 九八・七

耗を測り、従つて雨天日数十五日を數へたり。左に平均氣象表平均氣温表及降水量表を掲ぐ。

平均氣象表

(明治三十年以降)

氣象	月別												
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
氣温	四・四	四・五	七・三	一三・二	一七・五	二二・四	二五・四	二六・八	二二・三	一七・三	一一・九	六・九	一五・〇
降水量	四七・八	五三・七	九・五	一三・三	二五・二	三〇・二	一五・九	二六・〇	一九・五	二二・五	六八・一	四八・一	一、三四五・八
湿度	六七・六	六八・一	六七・一	六八・五	七〇・三	七三・三	七三・八	七三・九	七四・七	七二・五	七〇・二	六七・九	七一・〇
風	一五・六	一四・六	一八・九	二〇・一	一九・五	一七・五	二〇・五	二〇・九	二二・七	二〇・五	一三・一	一七・五	二二・七
風	W	N	W	W	ENE	ENE	ENE	ENE	NE	NNW	WNW	W	NE
風	平均速度 (秒間米)	平均速度 (秒間米)	平均速度 (秒間米)	平均速度 (秒間米)	平均速度 (秒間米)	平均速度 (秒間米)	平均速度 (秒間米)	平均速度 (秒間米)	平均速度 (秒間米)	平均速度 (秒間米)	平均速度 (秒間米)	平均速度 (秒間米)	平均速度 (秒間米)
風	二・七	二・七	二・六	二・六	二・五	二・三	二・四	二・六	二・六	二・五	二・六	二・八	二・六
風	最大速度 (秒間米)	最大速度 (秒間米)	最大速度 (秒間米)	最大速度 (秒間米)	最大速度 (秒間米)	最大速度 (秒間米)	最大速度 (秒間米)	最大速度 (秒間米)	最大速度 (秒間米)	最大速度 (秒間米)	最大速度 (秒間米)	最大速度 (秒間米)	最大速度 (秒間米)
風	二・七	二・七	二・六	二・六	二・五	二・三	二・四	二・六	二・六	二・五	二・六	二・八	二・六
風	方向	方向	方向	方向	方向	方向	方向	方向	方向	方向	方向	方向	方向
風	W	N	W	W	ENE	ENE	ENE	ENE	NE	NNW	WNW	W	NE

平均氣温表

(攝氏)

年別	月別												
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
同	五・〇	五・〇	九・九	二・九	一八・一	二二・五	二七・三	二七・八	二四・三	一七・〇	一三・四	七・五	一五・七
同	三・五	四・六	六・二	一四・六	一六・六	二二・〇	二四・六	二五・九	二二・二	一七・一	一七・七	六・四	一四・四
大	四・一	七・三	八・二	一三・四	一七・一	二二・二	二四・四	二六・八	二二・八	一六・九	一〇・六	六・九	一四・九
正	三・五	四・六	六・二	一四・六	一六・六	二二・〇	二四・六	二五・九	二二・二	一七・一	一七・七	六・四	一四・四
元	四・一	七・三	八・二	一三・四	一七・一	二二・二	二四・四	二六・八	二二・八	一六・九	一〇・六	六・九	一四・九
年	三・五	四・六	六・二	一四・六	一六・六	二二・〇	二四・六	二五・九	二二・二	一七・一	一七・七	六・四	一四・四

年別	月別												
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
同	四・四	四・九	六・四	一三・三	一七・三	二二・三	二六・一	二六・九	二四・五	一九・三	一三・一	七・四	一五・五
同	六・八	五・五	五・八	一三・二	一八・二	二二・五	二五・八	二七・四	二五・〇	一七・八	一三・六	七・九	一五・九
同	二・七	四・一	六・七	一三・一	一七・〇	二二・〇	二七・〇	二六・一	二四・〇	一七・九	一三・九	六・一	一四・三
同	二・三	四・二	六・九	一三・一	一七・〇	二二・〇	二七・〇	二六・一	二四・〇	一七・九	一三・九	六・一	一四・三
同	四・二	四・七	八・四	一三・七	一七・五	二二・二	二六・三	二六・三	二四・七	一七・六	一三・六	六・三	一四・五
同	四・四	三・八	七・八	一三・三	一七・一	二二・一	二六・三	二六・三	二四・七	一七・六	一三・六	六・三	一四・五
同	五・三	四・八	六・四	一三・八	一七・四	二二・四	二五・二	二七・四	二五・〇	一七・〇	一三・〇	六・七	一四・七
同	二・四	七・四	六・八	一三・九	一八・四	二二・四	二五・二	二七・四	二五・〇	一七・〇	一三・〇	六・七	一四・七
同	三・一	四・六	六・八	一三・九	一八・四	二二・四	二五・二	二七・四	二五・〇	一七・〇	一三・〇	六・七	一四・七
同	三・一	四・六	六・八	一三・九	一八・四	二二・四	二五・二	二七・四	二五・〇	一七・〇	一三・〇	六・七	一四・七
同	四・五	四・八	九・四	一三・〇	一七・七	二二・一	二五・八	二七・五	二四・九	一七・八	一三・二	七・五	一五・四
同	三・一	四・六	六・八	一三・〇	一七・七	二二・一	二五・八	二七・五	二四・九	一七・八	一三・二	七・五	一五・四
同	三・九	三・一	六・六	一三・七	一七・八	二二・〇	二五・八	二七・五	二四・八	一七・五	一三・一	七・三	一四・八
同	三・八	四・八	六・五	一三・八	一七・五	二二・一	二五・八	二七・五	二四・八	一七・五	一三・一	七・三	一四・八
昭	三・八	四・八	六・五	一三・八	一七・五	二二・一	二五・八	二七・五	二四・八	一七・五	一三・一	七・三	一四・八
和	三・八	四・八	六・五	一三・八	一七・五	二二・一	二五・八	二七・五	二四・八	一七・五	一三・一	七・三	一四・八
元	三・八	四・八	六・五	一三・八	一七・五	二二・一	二五・八	二七・五	二四・八	一七・五	一三・一	七・三	一四・八
年	三・八	四・八	六・五	一三・八	一七・五	二二・一	二五・八	二七・五	二四・八	一七・五	一三・一	七・三	一四・八
同	四・〇	三・一	七・〇	一三・二	一七・二	二二・七	二六・七	二七・七	二四・六	一七・七	一三・〇	六・五	一五・〇
同	四・〇	三・一	七・〇	一三・二	一七・二	二二・七	二六・七	二七・七	二四・六	一七・七	一三・〇	六・五	一五・〇
同	四・七	三・九	七・五	一三・八	一七・九	二二・八	二六・〇	二七・九	二五・〇	一七・七	一三・〇	六・五	一五・〇
同	四・七	三・九	七・五	一三・八	一七・九	二二・八	二六・〇	二七・九	二五・〇	一七・七	一三・〇	六・五	一五・〇
同	三・二	三・二	七・二	一三・一	一七・一	二二・六	二六・八	二七・八	二四・九	一七・五	一三・〇	六・五	一五・〇
同	三・二	三・二	七・二	一三・一	一七・一	二二・六	二六・八	二七・八	二四・九	一七・五	一三・〇	六・五	一五・〇

降水量表 (耗)

年別	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	全年
大	三八・四	二九・〇	一〇・二	二三四・九	八七・五	二八・四	一七七・二	二二四・二	二五四・八	五〇・六	四六・二	九五・二	一、三七七・六
正	三八・四	二九・〇	一〇・二	二三四・九	八七・五	二八・四	一七七・二	二二四・二	二五四・八	五〇・六	四六・二	九五・二	一、三七七・六
元	三八・四	二九・〇	一〇・二	二三四・九	八七・五	二八・四	一七七・二	二二四・二	二五四・八	五〇・六	四六・二	九五・二	一、三七七・六
年	三八・四	二九・〇	一〇・二	二三四・九	八七・五	二八・四	一七七・二	二二四・二	二五四・八	五〇・六	四六・二	九五・二	一、三七七・六





The right page contains a large, faint grid or table structure, likely a map or data table, spanning the right page. The content is illegible due to fading.

昭和五年十二月二十一日印刷  
昭和五年十二月二十六日發行

神戸市港灣部

印刷所  
神戸市役所印刷所

轉 又 市 書 經 略

印 編 復 轉 又 市 書 經 略 印 編 復

順 德 元 年 十 二 月 二 十 七 日 發 行  
順 德 元 年 十 二 月 二 十 一 日 印 刷



518  
75

